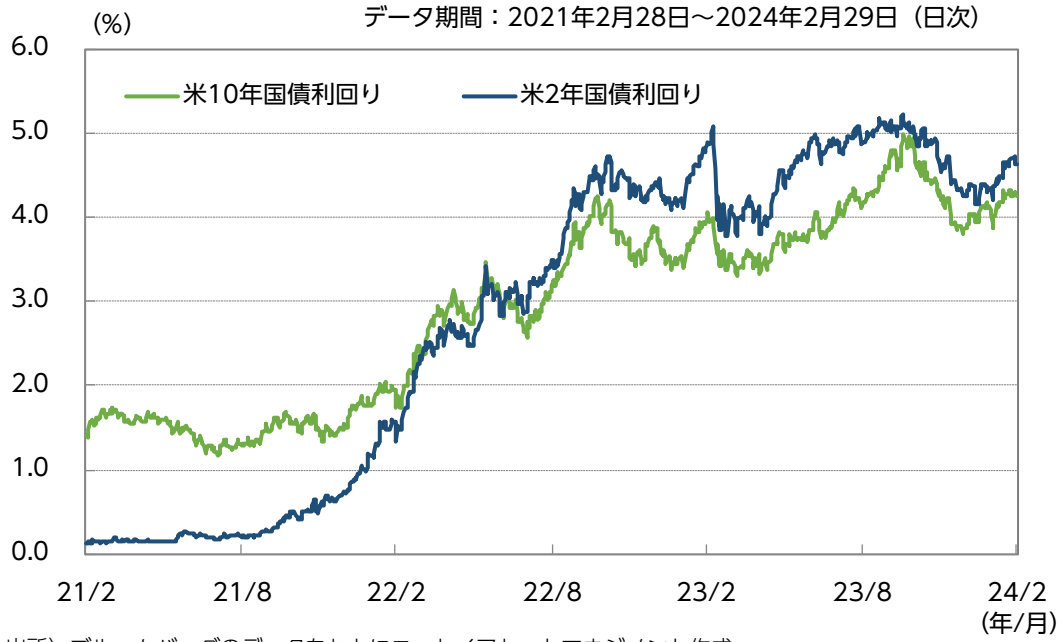
# 米国・欧州長期金利見通し



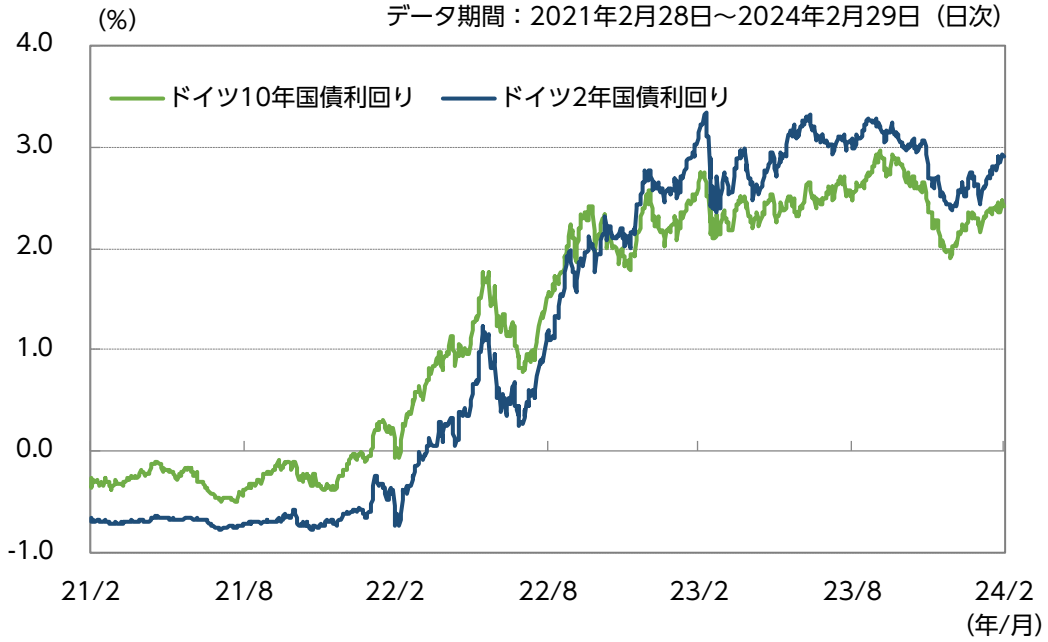
【米国長期金利】
- FRB （米連邦準備制度理事会）は１月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で４会合連続で政策金利の据え置きを決定しました。
- FOMCの議事要旨では時期尚早な利下げのリスクについて言及し、市場が織り込む年内の早期利下げ期待をけん制。
- 今後はインフレの緩やかな低下を見込む中で、長期金利は4%程度を中心に緩やかな低下を想定。

【欧州長期金利】
- 欧州中央銀行(ECB)は3月の理事会で、4会合連続で政策金利の据え置きを決定。
- ラガルドECB総裁は、インフレ目標達成が視界に入っているとし、6月会合での利下げを示唆。
- 目先は、賃金上昇を通じたサービス価格の上昇等で高水準での推移が予想されるも、中長期的には低下基調へ。

【 米国債利回り 】




【 ドイツ国債利回り 】




出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

ご留意いただきたい事項　●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものです。●投資信託は値動きのある資産を投資対象としており、基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割込むおそれがあります。ファンドによって投資対象資産や投資規制、投資対象国などが異なるため、リスクの内容や性質が異なります。また、投資信託のお申込時、保有期間中、およびご換金時には費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料に記載されている各指数、統計資料等の著作権・知的財産権その他一切の権利は、各算出先、公表元に帰属します。 ●当資料に記載されている内容は作成日現在のものであり、今後予告なく変更される場合があります。投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断ください。●当資料のグラフ・数値等は過去の実績であり、将来の市場環境の変動や投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。